

広島大学学術情報リポジトリ  
Hiroshima University Institutional Repository

Title	恵信尼写『仮名書き無量寿経』翻刻並びに対照本文漢字索引稿
Author(s)	佐々木, 勇; 比治山女子短期大学日本語史研究会,
Citation	鎌倉時代語研究 , 17 : 163 - 201
Issue Date	1994-05-30
DOI	
Self DOI	
URL	<a href="https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00026680">https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00026680</a>
Right	
Relation	



惠信尼写『仮名書き無量寿経』  
翻刻並びに対照本文漢字索引稿

佐々木 勇  
比治山女子短期大学  
日本語史研究会

恵信尼写 『仮名書き無量寿経』 翻刻

## 凡 例

- 一、本対照本文は、恵信尼筆「仮名書き無量寿経」の本文に『無量寿経』本文の漢字を対照させたものである。
- 二、恵信尼筆「仮名書き無量寿経」の底本は、『恵信尼文書』（法蔵館。一九七七年。原寸複製本）による。
- 三、対照させた『無量寿経』本文は、いわゆる流布本系の「真宗聖教全書」本によったが、流布本系の古本である龍谷大学蔵の鎌倉時代版本（021-129-2）によって一部改めた箇所がある。
- 四、底本には、少なからず訂正の跡が見られるが、本文は訂正後の形で掲げた。墨抹・虫損のため判読不可能な場合は、□・□をあてた。詳しくは、複製本を参照されたい。
- 五、底本文の右傍・左傍に記された文字は、印刷の都合上、本行に「」にくくって組み入れた。
- 六、底本で、本文上欄に書かれている「一」の文字は、省略した。
- 七、底本の複製本には、同様な対照本文が付されているが、誤りが少なくない。よって、漢字索引の本文として、本対照本文を掲載するものである。
- 八、本対照本文は、佐々木勇が原稿を作成し、八尾史子が清書し、佐々木勇が修正したものである。

- 1 (碼礪爲葉) 紫金爲華 白銀爲實 (或有寶樹)  
 めなういよう 四こんいけ ひやくこんいしつ わくうほうしゆ
- 2 (水精爲本) 珊瑚爲莖 碼礪爲枝 碑礪爲條 紫金爲葉  
 い本 三五いきやう めなふいし しやこいてう 四こんいよう
- 3 (白銀爲華) 碼礪爲實 (或有寶樹) 珊瑚爲本  
 ひやくこんいけ めなういしつ わくうほうしゆ 三五い本
- 4 (碼礪爲本) 碑礪爲莖 碼礪爲枝 紫金爲條 白銀  
 めなふい本 しやこいきやう めなふいし 四こんいてふ 白こん
- 5 (爲葉) 碼礪爲華 水精爲實 (或有寶樹) 碼礪爲本  
 いよふ めなふいけ すいしやういしつ わくうほうしゆ めなふい本
- 6 (碑礪爲莖) 紫金爲枝 白銀爲條 碼礪爲葉 水精爲華  
 しやこい京 四こんいし 白こんいてふ めなふいよう すいしやういけ
- 7 (珊瑚爲實) (或有寶樹) 碼礪爲本 紫金爲莖 白銀爲枝  
 三五いしつ わくうほうしゆ めなふい本 四こんいきやう 白こんいし
- 8 (碼礪爲條) 水精爲葉 珊瑚爲華 碼礪爲實 此諸寶樹  
 めなふいてふ すいしやういよう 三五いけ めなふいしつ 四しよほうしゆ
- 9 (行) 行相値 莖相望 枝相準  
 きやうくさうちゆう きやうくさうもふ しさうしゆつ
- 10 (葉) 葉相向 華華相順 實實相當  
 よふくさうかう けさうしゆつ しちくさうたう

11 (榮色光耀) 不可勝視 清風時發 出五音聲  
ゑいしき光よ ふかせうけん しやふし しゆつこおんしやう

12 (微妙宮商) 自然相和  
ゆめうけんしやう 自ねんさうは

13 (又無量壽佛) 其道場樹 高四百萬里  
うむりやうしゆ仏 五たうちやうしゆ かうし百まんり

14 (其本周匝) 五十由旬 枝葉四布 二十萬里  
五本しゆい 五十ゆしゆん 四ようしふ 二十まんり

15 (一切衆寶) 自然合成 以月光摩尼 持海輪寶  
一さいしゆほう しねんか上 い月光まに しかいりんほう

16 (周帀條間) 垂寶瓔珞 種種異變  
しゆさうてうけん すいほうやうらく しゆくいへん

17 (無量光燄) 照耀無極 珍妙寶網 羅覆其上  
むりやう光燄 しよよむこく ちんめうほうもん らふ五上

18 (一切莊嚴) 隨應而現 微風徐動 吹諸枝葉  
一切しやうこん すいをにけん みふせうとう すいししようしよう

19 (演出無量) 妙法音聲 其聲流布 徧諸佛國  
ゑんしゆつむりやう めうほうおんしやう 五しやうるふ へんしよ仏こく

20 (其聞音者) 得深法忍 住不退轉 至成佛道  
五もんおんしや とく神ほにん ちうふたいてん 四上仏たう

21 (耳根 清 徹)  
二こんしやうてん  
(マ)

22 (不遭 苦患)  
ふさうくけん 目観其色 耳聞其音 鼻知其香  
もくと五しき にもん五おん ひち五かう

23 (舌 嘗 其味 身触 其光 心以 法 縁 一切 皆 得)  
せんしやう五み 身そく五光 しんるほうゑん 一切かいとく  
(マ)

24 (甚 「にこり」 深 法忍 住不退 轉 至成佛道 六根 清徹)  
神「にこり」し「神」ほう人 ちうふたいてん し上仏たう 六こん正てつ

25 (無諸 惱 患 阿難 若彼 國 人 天 見此 樹 「にこり」 ゆしや 者)  
むしよなうけん あなんにやくひこく人天 けんしし「にこり」ゆしや

26 (得 三 法 忍)  
とく三ほう人

27 (一者 音 響 忍 二者 柔 順 忍 三者 無生 法 忍)  
一しやおんかう人 二しやにうしゆん人 三しやむ少ほう人

28 (此 皆 無 量 壽 佛 威 神 力 故 本 願 力 故 滿 足 願 故)  
四かいむりやうしゆ仏 いしんりきこ ほんくわんりきこ まんそくくわんこ

29 (明 了 願 故 堅 固 願 故 究 竟 願 故 佛 告 阿 難)  
みやうれうくわんこ けんこくわんこ くきやうくわんこ ふつかうあなん

30 (世 間 帝 王 有 百 千 音 樂 自 轉 輪 聖 王 乃 至 第 六 天 上)  
せけんていわう 有百千音 樂 自轉 輪 聖 王 乃至第六天上  
せけんていわう う百千□んかく してんりんしやうわう ないし大六てん上

惠信尼写『仮名書き無量寿経』翻刻並びに对照本文漢字索引稿

31 (伎樂音聲) 展轉相勝 千億萬倍 第六天上  
きかくおん上 天天さう少 千おく万はい 大六天上

32 (萬種樂音) 不如無量壽國 諸七寶樹  
万しゆかくおん ふによむりやうしゆこく 少七ほうしゆ

33 (一種音聲) 千億萬也 亦有自然 萬種伎樂  
一しゆおん上 千おくまんや やくうしねん 万しゆきかく

34 (又其樂聲) 無非法音 清揚哀亮 微妙和雅  
う五かくしやう むひほうおん しやうやうあいりやう みめうわんけ  
十方世界 おん上し中

35 (最爲第一) さいだい

36 (又講堂精舍) 宮殿樓觀 皆七寶莊嚴  
うかふたうしやうしや くうてんろうくわん かいしつほうしやうこん

37 (自然化成) 復以眞珠 明  
しねんけ上 ふるしん衆 みやうくわち

38 (摩尼衆寶) 以爲交露 覆蓋其上 内外左右  
まに衆ほう いけうれう ふかい五上 ないけさう

39 (有諸浴池) 或十由旬 或二十三卅  
うせうよくち わく十ゆせん 或二十三卅

40 (乃至百千由旬) 縱廣深淺 各皆一等  
ないし百千ゆしゆん しう光神せつ かんかい一とう



41 (八功德水) 八くとくすい 湛然 盈滿 清淨 香潔 味如甘露  
たんねんゆうまん しゃうくかうけ みねよかんろ

42 (黄金池者) わうこんちしや 底白銀沙 白銀池者 底黄金沙  
ていひやくこんしや 白こんちしや ていわうこんしや

43 (水精池者) すいしやうちしや 底瑠璃沙 瑠璃池者 底水精沙  
ていりりしや るりちしや ていすいしやうしや

44 (珊瑚池者) 三こちしや 底琥珀沙 琥珀池者 底珊瑚沙  
ていくはくしや くはくちしや てい三五しや

45 (碑磔池者) しゃこうちしや 底碼碯沙 碼碯池者 底碑磔沙  
ていめなうしや めなふちしや ていしやこうちしや

46 (白玉池者) はくきようちしや 底紫金沙 紫金池者 底白玉沙  
てい四こんしや 四こんちしや ていひやくきようちしや

47 (或二寶三寶) わく二ほう三ほう 乃至七寶 轉共合成 其池岸上  
ないししつほう てんくかうしやう 五ちかしやう

48 (有梅檀樹) うせんたんしゆ 華葉垂布  
けよふすいふ

49 (香氣普熏) かうけふくん 天優鉢羅華 鉢曇摩華 拘物頭華  
てうはんらけ はんとまけ くもつしゆけ

50 (分陀利華) ふんたりけ 雜色光茂 弥覆水上 彼諸菩薩  
さんしきくわうみふすい上 ひしよぼさつ

惠信尼写「仮名書き無量寿経」翻刻並びに对照本文漢字索引稿

51 (及聲聞衆) 若入寶池 意欲令水没(足) ぎうしやうもん衆 にやく入ほうち いよくりやうすいもんそく(マ)

52 (水即没) 足 欲令至膝 即至于膝 欲令至腰 すすいそくもんそく(マ) よくりやう四(マ)う(マ) そく四(マ)う(マ) よくりやう四(マ)う(マ)

53 (欲令至頸) 水即至頸 欲令灌身 自然灌身 よくりやう四(マ)卿(マ) すいそく四(マ)卿(マ) よくりやうくわんしん(マ) しねんくわんしん(マ)

54 (欲令還復) 水輒還復 調和冷 媛 よくりやうけんふ(マ) すいてうけんふ(マ) てふわりやうなん(マ)

55 (自然隨意) 開神悦体 蕩除心垢 しねんすい(マ)い(マ) かいしん(マ)えつ(マ)たい(マ) たうてよしんく(マ)

56 (清明) 激潔 淨若無形 寶沙映徹 しゃうみやうてうけむ(マ) じやう(マ)じやく(マ)む(マ)けむ(マ) ほう(マ)し(マ)や(マ)え(マ)いて(マ)つ(マ)

57 (無深) 不照 微瀾廻流 轉相灌注 安詳徐逝 むしん(マ)「神」(マ) ふ(マ)し(マ)やう(マ) みらん(マ)ゑる(マ) てん(マ)さう(マ)く(マ)わん(マ)ち(マ)う(マ) あん(マ)じやう(マ)じゆ(マ)せ(マ)い(マ)

58 (不) 遲不疾 波揚無量 自然妙聲 ふ(マ)「ち」(マ)ち(マ)ふん(マ)し(マ)疾(マ) は(マ)やう(マ)むり(マ)やう(マ) し(マ)ねん(マ)めう(マ)し(マ)やう(マ)聲(マ)

59 (隨其所應) 莫不聞者 或聞佛聲 すすい(マ)五(マ)し(マ)よ(マ)を(マ) まく(マ)ふ(マ)もん(マ)し(マ)や(マ) わく(マ)もん(マ)ふん(マ)し(マ)や(マ)う(マ) 佛(マ)聲(マ)

60 (或聞法) 聲 或聞僧聲 或寂靜聲 わく(マ)もん(マ)ほう(マ)し(マ)や(マ)う(マ) わく(マ)もん(マ)そう(マ)し(マ)や(マ)う(マ) わく(マ)ち(マ)やく(マ)く(マ)し(マ)や(マ)う(マ)聲(マ)

61 (空無我聲) 大慈悲聲 波羅蜜聲  
くうむかんしやう 大しひしやう ばらみしやう

62 (或十力無畏) 不共法聲 諸通慧聲  
わく十りきむい ふくほうしやう しょつゑしやう

63 (無所作聲) 不起滅聲  
むしよさしやう ふんきめしやう

64 (無生忍聲) 乃至甘露灌頂 衆妙法聲  
むしやう人しやう 乃至甘露灌頂 しょめうほうしやう

65 (如是等聲) 稱其所聞 歡喜無量 隨順清淨  
女せとうしやう 稱其所聞 くわんきむりやう すいしゆんしやう

66 (離欲寂滅) 眞實之義 隨順三寶  
りよくしやくめつ しんじつしき すいしゆんさんぼう

67 (力無所畏) 不共之法 隨順通慧  
りきむせうい ふくしほう すいしゆんつうゑ

68 (菩薩聲) 聞 所行之道 無有三塗 苦難之名  
ほさつしやうもん 所行之道 むうさんつ くるなんしみやう

69 (但有自然) 快樂之音 是故其國 名曰安樂  
たんうしねん 快樂之音 せんこごこく みやうわんあんらく

70 (阿難彼佛) 國土 諸往生者 具足如是  
あなんひふつこくと 諸往生者 ぐこく女せ

惠信尼写『仮名書き無量寿経』翻刻並びに对照本文漢字索引稿

71 (清淨色身 諸妙音聲 神通功德)

72 (所処宮殿 衣服飲食)

しやくくくうて

マ

ゑふくおんしき

惠信尼写『仮名書き無量寿経』对照本文漢字索引稿

## 凡例

- 一、本漢字索引は、恵信尼筆「仮名書き無量寿経」の本文に『無量寿経』本文の漢字を当てはめ、その同一漢字を整理したものである。
- 二、漢字の排列は、『大字典』（大正六年初版）によった。
- 三、漢字の字体は、活字正字体に従った。
- 四、用例の排列は、出現順とした。ただし、全く同一の用例は、初出の項にまとめ、所在行数のみを記した。
- 五、底本本文の右傍・左傍に記された文字は、印刷の都合上、本行に「        」にくくって組み入れた。
- 六、用例の単位は、龍谷大学蔵の鎌倉時代版本に南北朝時代に加点された句切り点によった。
- 七、一つの用例中に標出の漢字が複数含まれる場合は、該当する字の右傍に線を引いた。
- 八、本索引の作成にあたった比治山女子短期大学日本語史研究会のメンバーは、次の通りである。

(教員) 佐々木 勇

(学生) 稲手 真理子 岩崎 恵 佐藤 美佐 田中 仁恵 谷川 雅美 田之上 幸子 (平成三年度入学)

内丸 有季 佐々木 泉 中本 智恵 福湯 裕美 三上 英子 八尾 史子 (平成四年度入学)

五阿彌 佳子 小林 光絵 高橋 正美 (平成五年度入学)

(1) 一部

(一)

(一) 切 衆 寶

(一) さいしゆほう

(一) 切 莊 嚴

(一) 切しやうこん

(一) 切 皆 得

(一) 切かいとく

(一) 一者 音 響 忍

(一) しやおんかう人

(一) しゆおん上

(一) 一種 音 聲

(一) さい大

(一) 最爲第一

(一) 各 皆 一 等

(一) かんかいとく

(一) 七 寶 莊 嚴

(一) 諸七寶樹

(一) 少七ほうしゆ

(得 三 法 忍)

とく三ほう人

(三 者 無 生 法 忍)

三しやむ少ほう人

(或 二 十 三)

わく廿卅

(或 二 寶 三 寶)

わく二ほう三ほう

(隨 順 三 寶)

すいしゆん三ほう

(無 有 三 塗)

むう三つ

(羅 覆 其 上)

らふ其上

(乃 至 第 六 天 上)

ないし大六てん上

(第 六 天 上)

大六天上

(覆 蓋 其 上)

ふかい其上

(不 遭 苦 患)

ふさうくけん

(不 如 無 量 壽 國)

ふによむりやうしゆこく

(無 深)

むしん

(神 不 照)

ふしよう

(不 遲)

ふ

(不 疾)

ふ

(不 遲)

ふ

(不 疾)

ふ

(莫 不 聞 者)

まくふもんしや

(不 共 法 聲)

ふくほうしやう

(音 聲 之 中)

おん上し中

(不 起 滅 聲)

ふんきめしやう

(不 共 之 法)

ふくしほう

(十 方 世 界)

十ほうせかい

(世 間 帝 王)

せけんていわう

(不 共 之 法)

ふくしほう

(所 行 之 道)

しよ行四たう

(苦 難 之 名)

こなんしみやう

(快 樂 之 音)

けらくしおん

34

(1) 一部

1 (乃)

(乃 至 第 六 天 上)

ないし大六てん上

(乃 至 百 千 由 旬)

ないし百千ゆしゆん

(乃 至 七 寶)

ないししつほう

(乃 至 甘 露 灌 頂)

ないしかんろくわんちやう

(音 聲 之 中)

おん上し中

(眞 寶 之 義)

しんしつしき

(不 共 之 法)

ふくしほう

(所 行 之 道)

しよ行四たう

34

2 (三)

(乃 至 七 寶)

47

(不 可 勝 視)

11

3 (中)

(1) 一部

69

68

36

(其 池 岸 上)

50

(世 間 帝 王)

30

67

32

(覆 蓋 其 上)

38

(不 起 滅 聲)

63

66

1 (七)

(各 皆 一 等)

40

(第 六 天 上)

31

(不 共 之 法)

67

64

(最 爲 第 一)

35

(乃 至 第 六 天 上)

30

(不 起 滅 聲)

62

59

(一 種 音 聲)

33

(羅 覆 其 上)

17

(不 共 法 聲)

62

57

(一 者 音 響 忍)

27

(無 有 三 塗)

68

(莫 不 聞 者)

58

58

(一 切 皆 得)

23

(隨 順 三 寶)

66

(不 遲)

66

58

(一 切 莊 嚴)

18

(無 深)

66

(神 不 照)

57

32

(一 切 皆 得)

15

(乃 至 第 六 天 上)

47

(不 疾)

47

30

(一 切 皆 得)

15

(乃 至 百 千 由 旬)

47

(不 疾)

47

30

(一)

(或 二 十 三)

39

(不 遭 苦 患)

22

34

(1)乙部

(即至于膝)  
そく四う四膝<sub>(三)</sub>

3(令)

(意欲令水没足)  
いよくりやうすいもんそく<sub>(三)</sub>

5(但)

(但有自然)  
たんうしねん

2(也)

(千億萬也)  
千おくまんや

(出五音聲)  
しゆつごおんしやう

5(住)

(欲令至膝)  
よくりやう四四う<sub>(三)</sub>

5(住)

(住不退轉)  
ちうふたいてん

(1)丁部

(2)一 部

(五十由旬)  
五十ゆしゆん

5(体)

(欲令至頸)  
よくりやう四頸

(開神悦体)  
かい神多つたい

1(了)

(明了顯故)  
みやうれうくわんこ

4(交)

(以爲交露)  
いけうれう

3(以)

(欲令還復)  
よくりやうけんふ(夫)

5(佛)

(又無量壽佛)  
うむりやうしゆ仏

(2)二 部

4(亦)

(亦有自然)  
やくうしねん

3(以)

(以月光摩尼)  
い月光まに

5(佛)

(篇諸佛國)  
へんしよ仏こく

(二)

(二十萬里)  
二十まんり

7(亮)

(清揚哀亮)  
しやうやうあいらやう

4(以)

(以爲交露)  
いけうれう

15

5(佛)

(至成佛道)  
し上仏たう

(二者柔順忍)  
二しやにうしゆん人

(2)人 部

4(伎)

(復以眞珠)  
ふるしん衆

37

5(佛)

(此皆無量壽佛)  
四かいむりやうしゆ仏

28

(或二十三十)  
わく廿卅

39

(人)

(若彼國人天)  
にやくひこく人天

25

4(伎)

(伎樂音聲)  
きかくおん上

31

5(作)

(阿難彼佛國土)  
あなんひふつこくと

70

1(于)

47

(人)

4(伎)

33

5(作)

59

29

24

20

19

13

55

20  
24

69



(無所作聲)  
むしよさしやう

63

(以月光摩尼)  
い月光まに

15

(乃至第六天上)  
ないし大六てん上

30

8(倍)

(千億萬倍)  
千おく万はい

31

(無量光)  
むりやう光いん

17

(第六天上)  
大六天上

31

8(値)

(一行相値)  
きやうくさうちゆう

9

(身觸其光)  
身そく五光

23

(轉共合成)  
てんくかうしやう

47

12(僧)

(或聞僧聲)  
わくもんそうしやう

60

(入)

6(其)

67

13(億)

(千億萬倍)  
千おく万はい

31

(若入寶池)  
にやく入ほうち

51

(其道場樹)  
五たうちやうしゆ

13

15(優)

(千億萬也)  
千おくまんや

33

(内外左右)  
ないけさう

38

(羅覆其上)  
らふ五上

17

(天優鉢羅華)

天うはんらけ

49

(八)

(其聲流布)  
五しやうるふ

19

4(光)

(榮色光耀)  
ゑいしき光よ

11

(八功德水)  
八くとくすい

41

(其聞音普)  
五もんおんしや

20

2(六)

(六根清徹)  
六こん正てつ

24

(目觀其色)  
もくと五しき

22

(耳聞其音)  
にもん五おん

22

3(処)

(舌嘗其味)  
せんしやう五み

23

(鼻知其香)  
ひち五かう

22

(稱其所應)  
すい五しよを

59

(2) 几部

(2) 八部

(2) 入部

(2) ン部

(2) 几部

5(冷)  
(調和冷媛)  
てふわりやうなん

54

6(具)  
(具足如是)  
くこく女せ

70

6(其)  
(是故其國)  
せんこ五こく

69

6(共)  
(其池岸上)  
五ちかしやう

65

4(共)  
(隨其所應)  
すい五しよを

59

4(共)  
(其池岸上)  
五ちかしやう

47

4(共)  
(覆蓋其上)  
ふかい五上

38

4(共)  
(又其樂聲)  
う五かくしやう

34

4(共)  
(身觸其光)  
身そく五光

23

(所 処 宮 殿)  
しよくくうて  
まこ

72

(2)力部

(2)七部

(2)口部

(力)

(七)

(3)出

(威 神 力 故)  
いしんりきこ  
(本 願 力 故)  
ほんくわんりきこ  
(或 十 力 無 畏)  
わくじりきむい  
(力 無 所 畏)  
りきむせうい

19 11

(2)十部

(2)口部

(2)刀部

(3)功

(十)

(5)即

(2)分

(分 陀 利 華)  
ふんたりけ

50

(八 功 德 水)  
はくとくすい  
(神 通 功 德)  
しんつくとく

71

(十 方 世 界)  
じゅうほうせかい

34

(2)又部

(2)切

(一 切 衆 寶)  
さいしゆぼう  
(一 切 莊 嚴)  
せつしやうこん  
(一 切 皆 得)  
せつがいとく

15

(微 風 徐 動)  
みふせうどう  
(勝)  
しょう

18

(或 十 由 旬)  
わくじゆじゆん  
(或 二 十 二 千)  
わくじじふにせん  
(或 二 十 三 十)  
わくじじふさんじゆ  
(或 十 力 無 畏)  
わくじりきむい

39

(又 無 量 壽 佛)  
うむりやうしゆぶつ  
(又 其 樂 聲)  
う五かくしやう

13

(5)利

(分 陀 利 華)  
ふんたりけ

50

(不 可 勝 視)  
ふかせうけん  
(展 轉 相 勝)  
てんてんさうしょう

31

(有 百 千 音 樂)  
うひゃくせんかく

30

(又 講 堂 精 舍)  
うかふたうしやうしや

36

(千 億 萬 倍)  
ちやくばんばい  
(千 億 萬 也)  
ちやくまんや  
(乃 至 百 千 由 旬)  
ないしひゃくちゆしゆん

40 33 31

(及 聲 聞衆)  
さうしやうもん衆

51

(葉 葉 相 向)  
よふくさうかう

10

(清 揚 衰 亮)  
しやうやうあいりやう

34

(固)  
五本しゆい

(其本 周圍)

14

(3) 口 部

2 (可)

(不可 勝 視)  
ふかせうけん

11

4 (告)

(佛 告 阿 難)  
ふつかうあなん

29

9 (喜)

(歡 喜 無 量)  
くわんきむりやう

65

5 (固)

(堅 固 願 故)  
けんこくわんこ

29

2 (右)

(内 外 左 右)  
ないけさう

38

5 (周)

(其本 周圍)  
五本しゆい

14

11 (嘗)

(舌 嘗 其味)  
せんしやう五み

23

8 (國)

(編 諸 佛 國)  
へんしよふこく

19

3 (各)

(各 皆 一 等)  
かんかいとう

40

5 (味)

(周 味 條 間)  
しゆさうてうけん

16

17 (嚴)

(一切 莊 嚴)  
一切しやうこん

18

5 (垂)

(不如 無 量 壽 國)  
ふによむりやうしゆこく

25

3 (合)

(自然 合成)  
しねんかか上

15

5 (和)

(味 如 甘 露)  
みねよかんろ

41

17 (嚴)

(皆 七 寶 莊 嚴)  
かいしつぽうしやうこん

36

5 (土)

(是 故 其 國)  
せんご五こく

69

3 (名)

(苦 難 之 名)  
こなんしみやう

68

5 (和)

(自然 相 和)  
自ねんさうは

12

2 (四)

(高 四 百 萬 里)  
かうし百まんり

13

(土)

(阿 難 彼 佛 國 土)  
あなんひふつこくと

70

3 (向)

(名) 曰 安 樂  
みやうわんあんらく

69

6 (哀)

(調 和 冷 暖)  
てふわりやうなん

54

(枝 葉 四 布)

四ようしふ

14

5 (垂)

(阿 難 彼 佛 國 土)  
あなんひふつこくと

70

(垂寶璣 珞) すいほうやうらく

16

(華葉 垂布) けよふすいふ

48

6〔垢〕

(蕩除 心垢) たうてよしんく

55

8〔堂〕

(又講堂 精舎) うかふたうしやうしや

36

8〔堅〕

(堅固 願故) けんこくわんこ

29

9〔場〕

(其道場 樹) 五たうちやうしゆ

13

10〔塗〕

(無有三塗) むうみつ

68

11〔壽〕

(又無量 壽佛) うむりやうしゆふ

13

(此皆無量 壽佛) 四かいむりやうしゆふ

28

(不如無量 壽國) ふによむりやうしゆこく

(3) 女部

3〔如〕

(不如無量 壽國) ふによむりやうしゆこく

32

(味如 甘露) みねよかんろ

41

(如是等 聲) 女せとうしやう

65

(具足 如是) くこく女せ

70

4〔妙〕

(微妙 宮商) ゆめうけんしやう

12

(珍妙 寶網) ちんめうほうもん

17

(妙法 音聲) めうほうおんしやう

19

(微妙 和雅) みめうわんげ

34

(自然 妙聲) しねんめうしやう

58

(衆妙 法聲) しゆめうほうしやう

64

(諸妙 音聲) しょめうおんしやう

71

6〔威〕

(威神 力故) いしんりきこ

28

(3) 卜部

3〔安〕

(安詳 徐遊) あんじやうしよ

57

(名 曰安樂) みやうわんあんらく

69

7〔宮〕

(微妙 宮商) ゆめうけんしやう

12

(宮殿 樓觀) くうてんろうくわん

36

(所 処 宮殿) しょくくうて

72

8〔寂〕

(或 寂靜 聲) わくちやくじやう

60

(離欲 寂滅) りよくしやくめつ

66

11〔實〕

(白 銀爲 實) ひやくごんいしつ

1

(碼碯 爲 實) めなういしつ

3

(水 精 爲 實) すいしやういしつ

5

(珊瑚爲寶)  
三五いしつ

7

(或二寶三寶)  
わく二ぼう三ぼう

47

(其池岸上)  
五ちかしやう

47

(碼磁爲寶)  
めなふいしつ

8

(或二寶三寶)  
わく二ぼう三ぼう

47

(工部)

(3) 厂部

(實) 實相(当)  
しちくさうたう

10

(乃至七寶)  
ないししつぼう

47

(左)

(底)

(實) 實相(当)  
しちくさうたう

10

(若入寶池)  
にやく入ほうち

51

(内外左右)

(底) 白銀沙  
ていひやくこんしや

42

(實) 實相(当)  
しちくさうたう

10

(寶) 沙映徹  
ほうしやえいてつ

56

(内左右)

38

(底) 黄金沙  
ていわうこんしや

42

17(寶)

(或有寶樹)  
わくうぼうしゆ

1357

(隨順三寶)  
すいしゆんさんぼう

66

(巾部)

(底) 水精沙  
ていすいしやうしや

43

(此諸寶樹)  
ししよぼうしゆ

8

(以月光摩尼)  
い月光まに

15

(周帀條間)  
しゆさうてうけん

16

(底) 琥珀沙  
ていくはくしや

44

(一切衆寶)  
いっさいしゆぼう

15

(厄)

(底) 珊瑚沙  
てい珊瑚しや

44

(持海輪寶)  
しかいりんぼう

15

(摩尼衆寶)  
まに衆ぼう

15

(布)

(底) 碼瑙沙  
てい碼瑙しや

45

(垂寶璣) 瑠  
すいぼうやうらく

16

(摩尼衆寶)  
まに衆ぼう

38

(枝葉四布)  
しやうしふ

14

(底) 暉靛沙  
てい暉靛しや

45

(珍妙寶網)  
ちんめうぼうもん

17

(展)

(其聲流布)  
しやうるふ

19

(底) 紫金沙  
てい紫金しや

46

(諸七寶樹)  
しよしちぼうじゆ

32

(展轉相勝)  
てんてんさうしやう

31

(華葉垂布)  
けふふすいふ

48

(底) 白玉沙  
ていひやくぎよくしや

46

(皆七寶莊嚴)  
かいしつぼうしやうこん

36

(山部)

(帝)

30

(底) 廣深淺沙  
しやうくわんせつ

40

(摩尼衆寶)  
まに衆ぼう

38

(岸)

(世間帝王)  
せけんていおう

30

(底) 廣深淺沙  
しやうくわんせつ

40

(3) 互 部

(彼諸菩薩) ひしよほさつ  
(阿難彼佛國土) あなんひふつこくと

(水 輒 還復) すいてうけんふ  
(心以法縁) しんひほうえん  
(蕩除心垢) たうてよしんく

50  
70  
54  
23

6 廻

(微瀾迴流) みらんゑる

57

5 往

(諸往生者) しよわうしやうしや

70

10 微

(微妙宮) ゆめうけんしやう  
(微風徐動) みふせうとう  
(微妙和雅) みめうわんげ  
(微瀾迴流) みらんゑる

18

3 忍

(得深法忍) とくしんぽにん  
(甚深) 神(こ)りし(深)神(ほ)う人(忍)

20

(3) 弓 部

5 弥

(弥覆水上) みふすい上

50

8 得

(安詳徐逝) あん上てよせい  
(微風徐動) みふせうとう

57

12 德

(八功德水) 八くとくすい  
(神通功德) 神つくとく

41

7 患

(得三法忍) とく三ほう人  
(一者音響忍) 一しやおんかう人  
(二者柔順人) 二しやにうしゆん人  
(三者無生法忍) 三しやむしょう人  
(無生忍聲) むしやう人しやう

26

(3) 三 部

4 形

(淨若無形) 上(淨)にやくむ行

56

9 徧

(徧諸佛國) へんしよ仏こく  
(得三法忍) とく三ほう人

26

12 徹

(耳根清徹) 二こんしやうてん  
(六根清徹) 六こんしやうてん  
(寶沙映徹) ほうしやゑいてつ

21

4 快

(快樂之音) けらくしおん

64

(3) 彳 部

4 彼

(若彼國人天) にやくひこく人天

25

9 復

(復以眞珠) ふみしん衆  
(欲令還復) よくりやうけんふ(天)

37

(4) 心 小 部

(心)

7 悦

(開神悦体) かいしんえつたい

55

(不 遭 苦 患)  
ふさうくけん

(隨 應 而 現)  
すいをにげん

(或 二 寶 三 寶)  
わく二ほう三ほう

(4) 手 才 部

(無 諸 惱 患)  
むしよなうけん

(隨 其 所 應)  
すい五しよを

(或 聞 佛 聲)  
わくもんふんしやう

(拘 物 頭 華)  
くもつしゆけ

8 (悲)

(大 慈 悲 聲)  
大しひしやう

(4) 戈 部

(或 聞 僧 聲)  
わくもんそうしやう

(持 海 輪 寶)  
しかいりんぼう

(無 諸 惱 患)  
むしよなうけん

(自 然 合 成)  
しねんか上

(或 十 力 無 畏)  
わくちやく上しやう

(清 揚 哀 亮)  
しやうやうあいりやう

9 (惱)

(意 欲 令 水 没 足)  
いよくりやうすいもんそく

(至 成 佛 道)  
し上仏たう

(或 寂 靜 聲)  
わくちやく上しやう

(波 揚 無 量)  
はやうむりやう

9 (意)

(自 然 化 成)  
しねんけ上

(轉 共 合 成)  
てんくかうしやう

(隨 其 所 應)  
すい五しよを

(以 月 光 摩 尼)  
い月光まに

10 (慈)

(大 慈 悲 聲)  
大しひしやう

(空 無 我 聲)  
くうむかんしやう

(稱 其 所 聞)  
しよ五しよもん

(鉢 曇 摩 華)  
はんどもまけ

11 (慧)

(諸 通 慧 聲)  
しよつゑしやう

(或 有 寶 樹)  
わくうほうしゆ

(所 行 之 道)  
しよ行四たう

(摩 尼 衆 寶)  
まに衆ほう

13 (應)

(隨 順 通 慧)  
すいしゆんつうゑ

(或 十 由 衆)  
わく十ゆ衆

(所 處 宮 殿)  
しよくくうて

(故)

67

61

65

38

62

1357

67

49

61

47

59

58

51

24

60

34

25

15

60

15

61

59

60

49

(威神力故) いしんりきこ

(乃至百千由句) ないし百千ゆしゆん

(鉢盂摩華) はんとまけ

(有諸浴池) うせうよくち  
(有梅檀樹) うせんたんしゆ  
(無有三塗) むう三つ  
(但有自然) たんうしねん

(本願力故) ほんくわんりきこ

(明) 4 (明) みやうれうくわんこ

(名曰安樂) みやうわんあんらく

(衣服飲食) 衣服おんしき

(満足願故) まんそくくわんこ

(寶沙映徹) ほうしやえいてつ

(最爲第一) さいだい

(望) 7 (望) きやうくさうもふ

(明了願故) みやうれうくわんこ

(清明月) しやうみやうてうけむ

(最) 8 (最) みやうわんあんらく

(服) 4 (服) 衣服おんしき

(堅固願故) けんこくわんこ

(映) 5 (映) ほうしやえいてつ

(月) (月) い月光まに

(木) (木) 水精爲本

(究竟願故) くきやうくわんこ

(是) 5 (是) ほうしやえいてつ

(有) 2 (有) わくうほうしゆ

(本) 1 (本) 本願力故

(是故其國) せんこ五こく

(是) 5 (是) ほうしやえいてつ

(有) 2 (有) みやうくわち

(本) 1 (本) 本願力故

(4) 方 部

(4) 月 部

(4) 木 部

(方) (方) 十方世界

(如是等) 女せとうしやう

(有) 2 (有) わくうほうしゆ

(本) 1 (本) 本願力故

(十方世界) 十はうせかい

(是故其國) せんこ五こく

(有) 2 (有) みやうくわち

(本) 1 (本) 本願力故

(4) 日 部

(清風時發) しゃふし

(有) 2 (有) わくうほうしゆ

(本) 1 (本) 本願力故

(旬) 2 (旬) 五十由旬

(香氣普熏) かうけふくん

(有) 2 (有) わくうほうしゆ

(本) 1 (本) 本願力故

(五十由旬) 五十ゆしゆん

(普) 8 (普) しゃふし

(有) 2 (有) わくうほうしゆ

(本) 1 (本) 本願力故

(或十由旬) わく十ゆん

(曇) 12 (曇) かげふく

(有) 2 (有) わくうほうしゆ

(本) 1 (本) 本願力故

(或十由旬) わく十ゆん

(曇) 12 (曇) かげふく

(有) 2 (有) わくうほうしゆ

(本) 1 (本) 本願力故



4(枝)

(碼 磁爲枝)  
めなふいし 2 4

(紫 金爲枝)  
四こんいし 6

(白 銀爲枝)  
白こんいし 7

(枝 枝相準)  
しゝさうしゆつ 9

(枝 枝相準)  
しゝさうしゆつ 9

(枝 葉四布)  
四ようしふ 14

(吹 諸 枝葉)  
すいししようしゆ 18

5(柔)

(二 者柔順忍)  
二しやにうしゆん人 27

6(栴)

(有 栴 檀 樹)  
うせんたんしゆ 48

6(根)

(耳 根 清 徹)  
二こんしやうてん 21

(六 根 清 徹)  
六こん正てつ 24

7(條)

(碑 礪爲條)  
しやこいてう 2

(紫 金爲條)  
四こんいふ 4

(白 銀爲條)  
白こんいふ 6

(碼 磁爲條)  
めなふいてふ 8

(周 帀 條 間)  
しゆさうてうけん 16

(照 耀無 極)  
しよよむこく 17

(宮 殿 樓 觀)  
くうてんろうくわん 36

(榮 色 光 耀)  
ゑいしき光よ 11

(有 百 千 音 樂)  
う百千□んかく 30

(枝 樂 音 聲)  
きかくおん上 31

(萬 種 樂 音)  
万しゆかくおん 32

(萬 種 伎 樂)  
万しゆきかく 33

(又 其 樂 聲)  
う五かくしやう 34

(快 樂 之 音)  
けらくしおん 69

(名 曰 安 樂)  
みやうわんあんらく 69

(或 有 寶 樹)  
わくうほうしゆ 1 3 5 7

(此 諸 寶 樹)  
四しよほうしゆ 8

(其 道 場 樹)  
五たうちやうしゆ 13

(見 此 樹 者)  
けんしし(にこり)ゆしや 25

(諸 七 寶 樹)  
少七ほうしゆ 32

(有 栴 檀 樹)  
うせんたんしゆ 48

(有 栴 檀 樹)  
うせんたんしゆ 48

(有 栴 檀 樹)  
うせんたんしゆ 48

(有 栴 檀 樹)  
うせんたんしゆ 48

(4)欠部

7(欲)

(意 欲 令 水 没 足)  
いよくりやうすいもんそく 33

(欲 令 至 膝)  
よくりやう四四 51

(欲 令 至 腰)  
よくりやう四四 52

(欲 令 至 頸)  
よくりやう四四 52

(欲 令 灌 身)  
よくりやうくわんしん 53

(欲 令 還 復)  
よくりやうけんふ(夫) 54

(離 欲 寂 滅)  
りよくしやくくめつ 56

(歡 喜 無 量)  
くわんきむりやう 65

(歡 喜 無 量)  
くわんきむりやう 65

(歡 喜 無 量)  
くわんきむりやう 65

(歡 喜 無 量)  
くわんきむりやう 65

(歡 喜 無 量)  
くわんきむりやう 65

(歡 喜 無 量)  
くわんきむりやう 65

(此 諸 寶 樹)  
四しよほうしゆ 8

(見 此 樹 者)  
けんしし(にこり)ゆしや 25

(此 皆 無 量 壽 佛)  
四かいむりやうしゆ仏 28

(4) 支部

9 [殿]

(宮殿樓觀) くらてんろうくわん

(所処宮殿) しょくくうて

36 72

(4) 气部

6 [氣]

(香氣普熏) かうけふくん

(4) 水部

[水]

(水精爲寶) すいしやういしつ

(水精爲華) すいしやういけ

(水精爲葉) すいしやういよう

(八功德水) 八くとくすい

5 6 8 41

(水精池者) すいしやうちしや

(底水精沙) ていすいしやうしや

(弥覆水上) みふすい上

(意欲令水没足) いよくりやうすいもんそく

(水即没足) すいそくもんそく

(水即至頸) すいそくしやく

(水輒還復) すいてうけんふ

3 [池]

(有諸浴池) うせうよくち

(黄金池者) わうこんちしや

(白银池者) 白こんちしや

(水精池者) すいしやうちしや

(琉璃池者) るりちしや

(珊瑚池者) 珊瑚ちしや

(琥珀池者) くはくちしや

43 43 43 43 42 42 39 54 53 52 51 50 43 43

(碑蹀池者) しやこうちしや

(碼磁池者) めなふちしや

(白玉池者) はくきよくちしや

(紫金池者) 紫こんちしや

(其他岸上) 五ちかしやう

(若入寶池) にやく入ほうち

4 [没]

(意欲令水没足) いよくりやうすいもんそく

(水即没足) すいそくもんそく

4 [沙]

(底白銀沙) ていひやくこんしや

(底黄金沙) ていわうこんしや

(底琉璃沙) ていりうしや

(底水精沙) ていすいしやうしや

(底琥珀沙) ていくはくしや

45 45 46 46 47 51 51 52 51

(底珊瑚沙) てい三五しや

(底碼磁沙) ていめなうしや

(底碑蹀沙) ていしやこうしや

(底紫金沙) てい四こんしや

(底白玉沙) ていひやくきよくしや

(寶沙映微) ほうしやゑいてつ

5 [法]

(妙法音聲) めうほうおんしや

(得深法忍) とくしんぽにん

(心以法緣) しんいほうゑん

(甚深) 神(こころ)し [神] ほう人忍

(得三法忍) とくさんぽう人

(三者無生法忍) 三しやむじふほう人

(無非法音) むひほうおん

(或聞法聲) わくもんほうしやう

44 45 45 46 46 56 46 46 45 24 26 27 34 60

(不共法) 声  
ふくほうしやう

62

(衆妙法) 声  
しゆめうほうしやう

64

(不共之法)  
ふくしほう

67

5(波)

(波揚無量)  
はやうむりやう

58

(波羅蜜聲)  
はらみしやう

61

5(注)

(轉相灌注)  
てんさうくわんちう

57

6(流)

(其聲流布)  
五しやうるふ

19

(微瀾廻流)  
みらんゑる

57

7(浴)

(有諸浴池)  
うせうよくち

39

7(海)

(持海輪寶)  
しかいりんぼう

15

8(淨)

(清淨香潔)  
しやうくかうけ

41

(淨若無形)  
上にやくむ行

56

(隨順清淨)  
すいしゆんしやうく

65

(清淨色身)  
しやうくしきしん

71

8(深)

(得深法忍)  
とくしんぽにん

20

(甚深)  
神(こころ)し(神)ほう人

24

(縱廣深淺)  
しう光神せつ

40

(無深不照)  
むしん(神)ふしよう

57

8(清)

(清風時發)  
しやふし

11

(耳根清徹)  
二こんしやうてん

21

(六根清徹)  
六こん正てつ

24

(清揚哀亮)  
しやうやうあいりやう

34

(清淨香潔)  
しやうくかうけ

41

(清明激潔)  
しやうみやうてうけむ

56

(隨順清淨)  
すいしゆんしやうく

65

(清淨色身)  
しやうくしきしん

71

8(淺)

(縱廣深淺)  
しう光神せつ

40

9(湛)

(湛然盈滿)  
たんねんゆうまん

41

10(準)

(枝相準)  
し>さうしゆつ

9

10(滅)

(不起滅聲)  
ふんきめしやう

63

(離欲寂滅)  
りよくしやくめつ

66

11(滿)

(滿足願故)  
まんそくくわんこ

28

(湛然盈滿)  
たんねんゆうまん

41

11(演)

(演) 出無量  
ゑんしゆつむりやう

19

12(潔)

(清淨香潔)  
しやうくかうけ

41

(清明激潔)  
しやうみやうてうけむ

56

12(激)

(清明激潔)  
しやうみやうてうけむ

56

17(瀾)

(微瀾廻流)  
みらんゑる

57

18(灌)

(飲) 令灌身  
よくりやうくわんしん

53

(自然灌身)  
しねんくわんしん

53

(轉相灌注)  
てんさうくわんちう

57

(乃至甘露灌頂)  
ないしかんろくわんちやう

64

(4)火部

8〔無〕

- 8〔無〕
- 又無量壽佛(佛) うむりやうしゆ仏
- 無量光(佛) むりやうかいん
- 照耀無極(佛) しよよむこく
- 演(出) ゑんしゆつむりやう
- 無諸惱患(患) むしよなうけん
- 三者無生法忍(忍) 三しやむ少ほうん
- 此皆無量壽佛(佛) 四かいむりやうしゆ仏
- 不如無量壽國(國) ふによむりやうしゆこく
- 無非(音) むひほうおん
- 淨若無形(形) 上にやくむ行
- 無深(照) むしん〔神〕ふしよ
- 波揚無量(量) はやうむりやう
- 空無我聲(聲) くうむかんしやう
- 或十力無畏(畏) わく十りきむい

62 61 58 57 56 34 32 28 27 25 19 17 17 13

〔無所作聲〕  
むしよさしやう

〔無生忍聲〕  
むしやう人しやう

〔歡喜無量〕  
くわんきむりやう

〔力無所畏〕  
りきむせうい

〔無有三塗〕  
むう三つ

8〔然〕

〔自然相和〕  
自ねんさうは

〔自然合成〕  
しねんか上

〔亦有自然〕  
やくうしねん

〔自然化成〕  
しねんけ上

〔湛然盈滿〕  
たんねんゆうまん

〔自然灌身〕  
しねんくわんしん

〔自然隨意〕  
しねんすい

〔自然妙聲〕  
しねんめうしやう

〔但有自然〕  
たんうしねん

9〔煖〕

69 58 55 53 41 37 33 15 12 68 67 65 64 63

〔調和冷煖〕  
てふわりやうなん

9〔照〕

〔照耀無極〕  
しよよむこく

〔無深〕  
むしん〔神〕ふしよ

10〔熏〕

〔香氣普熏〕  
かうけふくん

12〔燄〕

〔無量光燄〕  
むりやうかいん

(4) 爪部

8〔爲〕

〔碼腦爲葉〕  
めなういよう

〔紫金爲華〕  
しやくこんいけ

〔白銀爲實〕  
ひやくこんいしつ

〔水精爲本〕  
すいけいほん

〔珊瑚爲莖〕  
さんごいぎやう

2 2 1 1 1 17 49 57 17 54

〔碼腦爲枝〕  
めなふいし

〔碑磔爲條〕  
しやくいてう

〔紫金爲葉〕  
しやくこんいよう

〔白銀爲華〕  
ひやくこんいけ

〔碼腦爲實〕  
めなういしつ

〔珊瑚爲本〕  
さんごほん

〔碼腦爲本〕  
めなふいほん

〔碑磔爲莖〕  
しやくいてぎやう

〔紫金爲條〕  
しやくこんいふ

〔爲葉〕  
いよふ

〔碼腦爲華〕  
めなふいけ

〔水精爲實〕  
すいけいしつ

〔碑磔爲莖〕  
しやくいてう

〔紫金爲枝〕  
しやくこんいし

〔白銀爲條〕  
ひやくこんいふ

〔碼腦爲葉〕  
めなふいよう

6 6 6 6 5 5 5 4 4 4 5 7 3 3 3 2 2 2 4



4〔甚〕

神(甚)し(深)神(神)ほう人(法忍)

24

十(十方世界)はうせかい

4〔畏〕

わく(或十力無畏)りき(力無所畏)むせうい

62

(5)生部

7〔異〕

しゆ(種種異變)いへん

67

8〔當〕

しち(實實相當)さうたう

10

白銀池者

白銀爲條

白銀爲枝

底白銀沙

ていひやくこんしや

白銀爲池者

白銀爲條

白銀爲枝

底白銀沙

各皆一とう(各皆一とう)

40

36

瀝然盈滿

たんねんゆうまん

41

4〔盈〕

(5)皿部

(生)

三者無生法忍

27

三少ほう人

無生忍聲

64

(5)田部

5〔疾〕

ふ(不遲)ちふん(不疾)□

58

(5)白部

1〔白〕

ひやく(白銀爲實)こんいしつ

1

1〔百〕

高四百萬里

13

有百千音

30

乃至百千由句

40

4〔皆〕

一切皆得

23

此皆無量壽佛

28

皆七寶莊嚴

28

1〔目〕

目觀其色

22

4〔相〕

一行相

9

莖莖相望

9

枝枝相準

9

葉葉相向

10

華華相順

10

(實 實相 當)  
しちくさうたう  
(自然 相和)  
自ねんさうは

10

(5)石部

(展轉 相勝)  
天天さう少

12

(碑 磧 爲 莖)  
しやこいいてふ

2

(碼 磧 爲 莖)  
めなういよう

1

(碑 磧 爲 莖)  
しやこい京

6

(轉 相 灌 注)  
天さうくわんちう

31

(碑 磧 爲 莖)  
しやこいきやう

4

(碼 磧 爲 莖)  
めなういしつ

3

(碑 磧 池 者)  
しやこうちしや

45

5(眞)

(復以 眞珠)  
ふるしん衆

37

(碑 磧 爲 莖)  
しやこい京

6

(碼 磧 爲 莖)  
めなういしつ

2

(碼 磧 爲 莖)  
めなういしつ

4

(眞 實 之 義)  
しんしつしき

66

(碑 磧 池 者)  
しやこうちしや

45

(碼 磧 爲 莖)  
めなういしつ

3

(威 神 力 故)  
いしんりきこ

28

6(衆)

(一 切 衆 寶)  
一さいしゆほう

15

(碼 磧 爲 莖)  
めなういしつ

1

(碼 磧 爲 莖)  
めなういしつ

5

(開 神 悅 體)  
かいしんえつたい

55

(摩尼 衆 寶)  
まに衆ほう

38

(碼 磧 爲 莖)  
めなういしつ

2

(碼 磧 爲 莖)  
めなういしつ

6

(神 通 功 徳)  
しんつうとく

71

(及 聲 聞 衆)  
きうしやうもん衆

51

(碼 磧 爲 莖)  
めなういしつ

4

(碼 磧 爲 莖)  
めなういしつ

8

(萬 種 樂 音)  
ばんしゆかくおん

16

(衆 妙 法 聲)  
しゆめうほうしやう

64

(碼 磧 爲 莖)  
めなういしつ

3

(碼 磧 爲 莖)  
めなういしつ

8

(5)矢部

3(知)

(鼻 知 其 香)  
ひち五かう

22

(碼 磧 爲 莖)  
めなういしつ

8

(碑 磧 爲 莖)  
しやこいいてふ

2

(萬 種 樂 音)  
ばんしゆかくおん

32

(一)種音聲  
しゅおん上

(萬種伎樂)  
万しゆきかく

9〔稱〕

(稱其所聞)  
しよ五しよもん

(5)穴部

2〔究〕

(究竟願故)  
くきやうくわんこ

3〔空〕

(空無我聲)  
くうむかんしやう  
マゴ

(5)立部

6〔竟〕

(究竟願故)  
くきやうくわんこ

(5)竹部

5〔第〕

(乃至第六天上)  
ないし大六てん上

(第六天上)  
大六天上

(最爲第一)  
さい大

6〔等〕

(各皆一)等  
かんかい一とう

(如是)等聲  
マゴ  
女せとうしやう

(6)米部

8〔精〕

(水精爲実)  
すいしやういしつ

(水精爲華)  
すいしやういけ

(水精爲葉)  
すいしやういよう

(又講堂精舍)  
うかふたうしやうしや

(水精池者)  
すいしやうちしや

(底水精沙)  
ていすいしやうしや

(6)糸部

5〔紫〕

(紫金爲華)  
四こんいけ

(紫金爲葉)  
四こんいよう

(紫金爲藤)  
四こんいてふ

(紫金爲枝)  
四こんいし

(紫金爲莖)  
四こんいきやう

(紫金池者)  
四こんちしや

(底紫金沙)  
てい四こんしや

8〔網〕

(珍妙宝網)  
ちんめうほうもん  
マゴ

9〔縁〕

(心以法縁)  
しんみほうゑん

11〔縦〕

(縦広深淺)  
しう光神せつ  
マゴ

(6)网四部

14〔羅〕

(羅覆其上)  
らふ五上

(天優鉢羅華)  
天うはんらけ

(波羅蜜聲)  
はらみしやう  
マゴ

(6)羊部

7〔義〕

(眞實之義)  
しんしつしき

(6)羽部

14〔耀〕

(榮色光耀)  
ゑいしき光よ  
マゴ

(照耀無極)  
しよよむこく  
マゴ

29

61

29

65

33

33

43

43

36

8

6

5

65

40

35

31

30

40

23

17

46

46

7

6

4

2

1

17

11

66

61

49

17



(6)老部

4(者)

- (其聞音者) 五もんおんしや 20
- (見此樹(ニニリ)ゆしや) けんしし(ニニリ)ゆしや 25
- (一者音響忍) 一しやおんかう人 27
- (二者柔順忍) 二しやにうしゆん人 27
- (三者無生法忍) 三しやむ少ほう人 27
- (黄金池者) わうこんちしや 42
- (白銀池者) 白こんちしや 42
- (水精池者) すいしやうちしや 43
- (瑠璃池者) ろりちしや 43
- (珊瑚池者) 三ごちしや 44
- (琥珀池者) くはくちしや 44
- (磗磗池者) しゃごうちしや 45
- (碼碯池者) めなふちしや 45

(白玉池者) はくきよくちしや

(紫金池者) 四こんちしや

(莫不聞者) まくふもんしや

(諸往生者) してわうしやうしや

(6)而部

(而)

(隨應而現) すいをにけん

(6)耳部

(耳)

(耳根清徹) 二こんしやうてん

(耳聞其音) にもん五おん

7(聖)

(自轉輪聖王) してんりんしやうわう

8(聞)

(其聞音者) 五もんおんしや

(耳聞其音) にもん五おん

(及聲聞衆) きうしやうもん衆

(莫不聞者) まくふもんしや

(或聞佛聲) わくもんふんしやう

(或聞法聲) わくもんほうしやう

(或聞僧聲) わくもんそうしやう

(稱其所聞) してんしよもん

(菩薩聲聞) ぼさつしやうもん

11(聲)

(出五音聲) しゆつごおんしやう

(妙法音聲) めうほうおんしやう

(其聲流布) 五しやうるふ

(伎樂音聲) きかくおんしやう

(一種音聲) してんしよおんしやう

(又其樂聲) うしやくしやう

(音聲之中) おんしやうちゆう

(及聲聞衆) きうしやうもん衆

(自然妙聲) しねんめうしやう

(或聞佛聲) わくもんふんしやう

(或聞法聲) わくもんほうしやう

(或聞僧聲) わくもんそうしやう

(或寂靜聲) わくちやくじやうしやう

(空無我) くうむがんしやう

(大慈悲聲) だいじひしやう

(波羅蜜聲) ぱらみしやう

(不共法聲) ふくほうしやう

(諸通慧聲) しよつうゑしやう

(無所作聲) むしよさしやう

(不起滅聲) ふんきめしやう

(無生忍聲) むしやうにんしやう

(衆妙法聲) しゆめうほうしやう

(如是等聲) 女せとうしやう

(亦有自然) やくうしねん

(欲令至腰) よくりやう四よう

(雜色光茂) さんしき光むつ

(菩薩聲聞) ほさつしやうもん

(自然化成) しねんけし

(欲令至頸) よくりやう四頸

(清淨色身) しやうくしきしん

(諸妙音聲) しよめうおん

(自然灌身) しねんくわんしん

(水即至頸) すいそく四頸

(6) 艸部

(6) 肉部

(自然隨意) しねんすい

(乃至甘露灌頂) ないしかんろくわんちやう

(若彼國人天) (若) 彼國(人)天

9 (腰)

(欲令至腰) よくりやう四よう

(但有自然) たんうしねん

(6) 舌部

(若入寶池) (若) 入寶池

11 (膝)

(欲令至膝) よくりやう四よう

(至成佛道) (至) 成佛道

(舌嘗其味) (舌) 嘗其味

(淨若無形) (淨) 若無形

(即至于膝) (即) 至于膝

(至成佛道) (至) 成佛道

(又講堂精舍) (又) 講堂精舍

(不遭苦患) (不) 遭苦患

(6) 自部

(自然相和) 自ねんそうは

(乃至第六天上) ないし大六てんじやう

(舍) (舍) 其味

(苦難之名) (苦) 難之名

(自然合成) 自ねんかじやう

(乃至百千由旬) ないし百千ゆしゆん

(5) (苦) (苦) 難之名

(雜色光茂) (雜) 色光茂

(自轉輪聖王) してんりんしやうわう

(乃至七寶) ないししつぽう

(7) (莊) (莊) 嚴

(一切莊嚴) (一切) 莊嚴

30

52

22

18

15

52

11

50

12

47

36

68

40

30

23

22

24

20

64

56

20

69

53

51

52

55

53

25

52

37

52

71

33

33

53

50

7〔莖〕

(珊瑚爲莖)  
三五いぎやう

(碑礫爲莖)  
しやこいきやう

(碑礫爲莖)  
しやこい京

(紫金爲莖)  
四こんいきやう

(莖) 莖相望  
ぎやうくさうもふ

(莖) 莖相望  
ぎやうくさうもふ

7〔莫〕

(莫不聞者)  
まくふもんしや

8〔苦〕

(彼諸菩薩)  
ひしよぼさつ

(菩薩聲聞)  
ぼさつしやうもん

8〔華〕

(紫金爲華)  
四こんいけ

(白銀爲華)  
ひやくこんいけ

(碼碯爲華)  
めなふいけ

(水精爲華)  
すいしやういけ

(珊瑚爲華)  
三五いけ

(華) 華相順  
けくさうしゆつ

(華) 華相順  
けくさうしゆつ

(華) 華垂布  
けよふすいぶ

(天優鉢羅華)  
てうはんらけ

(鉢曇摩華)  
はんとまけ

(拘物頭華)  
くもつしゆけ

(分陀利華)  
ふんたりけ

9〔萬〕

(高四百萬里)  
かうしよまんり

(二十萬里)  
にじふまんり

(千億萬倍)  
ちやくばんばい

(萬種樂音)  
ばんしゆかくおん

(千億萬也)  
ちやくまんや

(萬種伎樂)  
ばんしゆきかく

9〔葉〕

(碼碯爲葉)  
めなういよう

(紫金爲葉)  
四こんいよう

(爲葉)  
いよふ

(水精爲葉)  
すいしやういよう

(葉) 葉相向  
よふくさうかう

(葉) 葉相向  
よふくさうかう

(枝葉四布)  
しやうしよふ

(吹諸枝葉)  
すいしやうしよ

(華) 華垂布  
けよふすいぶ

10〔蓋〕

(覆蓋其上)  
ふかいしよ上

12〔蕩〕

(蕩除心垢)  
たうてよしんく

13〔薩〕

(彼諸菩薩)  
ひしよぼさつ

(菩薩聲聞)  
ぼさつしやうもん

(6)虫部

8〔蜜〕

(波羅蜜聲)  
はらみしやう

(波羅蜜聲)  
はらみしやう

(6)行部

(行)

(行) 行相値  
きやうくさうちう

(行) 行相値  
きやうくさうちう

(所行之道)  
しよ行四たう

(6)衣部

(衣)

(衣服飲食)  
ゑふくおんしき

(衣服飲食)  
ゑふくおんしき

惠信尼写『仮名書き無量寿経』翻刻並びに对照本文漢字索引稿(肉自至舌色艸虫行衣部)

3

1

68

50

59

9

9

7

6

4

2

36

33

32

31

14

13

50

49

49

49

48

10

10

8

6

5

55

38

48

18

14

10

8

5

2

1

6

33

72

68

9

9

61

68

50

(6)西 部

(7)角 部

12 (覆)

(羅覆其上)  
らふ五上

17

6 (觸)  
(身 觸 其光)  
身そく五光

23

(覆 蓋 其上)  
ふかい五上

38

(7)言 部

(弥 覆 水 上)  
みふすい上

50

6 (詳)

(安 詳 徐 遊)  
あん上でよせい

57

(見)

(見 此 樹 者)  
けんしし(ミツ)ゆしや

25

8 (調)

(調 和 冷 暖)  
てふわりやうなん

54

5 (視)

(不 可 勝 視)  
ふかせうけん

11

9 (諸)

(此 諸 宝 樹)  
四しよほうしゆ

8

9 (觀)

(目 觀 其 色)  
もくと五しき

22

(吹 諸 枝 葉)  
すいしよしょう

18

(徧 諸 佛 國)  
へんしよ仏こく

19

18 (觀)

(宮 殿 樓 觀)  
くうてんろうくわん

36

(無 諸 惱 患)  
むしよなうけん

25

(諸 七 寶 樹)  
しよ七寶樹

32

(有 諸 浴 池)  
うせうよくち

39

(彼 諸 菩 薩)  
ひしよぼさつ

50

(諸 通 慧 聲)  
しよつゑしやう

62

(諸 往 生 者)  
しよわうしやうしや

70

(諸 妙 音 聲)  
しよめうおん

71

(又 講 堂 精 舍)  
うかふたうしやうしや

36

10 (講)

(種 種 異 變)  
しゆくゝいへん

16

16 (變)

(身 觸 其 光)  
身そく五光

23

(欲 令 濯 身)  
よくりやうくわんしん

53

(自 然 濯 身)  
しねんくわんしん

53

(清 淨 色 身)  
しやうじゆしきしん

71

(身)

(身 觸 其 光)  
身そく五光

23

(欲 令 濯 身)  
よくりやうくわんしん

53

(自 然 濯 身)  
しねんくわんしん

53

(清 淨 色 身)  
しやうじゆしきしん

71

(身)

(身 觸 其 光)  
身そく五光

23

(欲 令 濯 身)  
よくりやうくわんしん

53

(自 然 濯 身)  
しねんくわんしん

53

(清 淨 色 身)  
しやうじゆしきしん

71

(滿 足 願 故)  
まんそくくわんこ

28

(意 欲 令 水 沒 足)  
いよくりやうすいもんそく

51

(水 即 沒 足)  
すいそくもんそく

52

(具 足 如 是)  
ぐそくにせ

70

(女 色)  
にせ

70

(水 輒 還 復)  
すいてうけんふ

54

(水 輒 還 復)  
すいてうけんふ

54

(水 輒 還 復)  
すいてうけんふ

54

(水 輒 還 復)  
すいてうけんふ

54

(水 輒 還 復)  
すいてうけんふ

54

(水 輒 還 復)  
すいてうけんふ

54

(水 輒 還 復)  
すいてうけんふ

54

(水 輒 還 復)  
すいてうけんふ

54

(水 輒 還 復)  
すいてうけんふ

54

(水 輒 還 復)  
すいてうけんふ

54

(水 輒 還 復)  
すいてうけんふ

54

(水 輒 還 復)  
すいてうけんふ

54

(水 輒 還 復)  
すいてうけんふ

54

(水 輒 還 復)  
すいてうけんふ

54

(水 輒 還 復)  
すいてうけんふ

54

(水 輒 還 復)  
すいてうけんふ

54

(水 輒 還 復)  
すいてうけんふ

54

(水 輒 還 復)  
すいてうけんふ

54

(水 輒 還 復)  
すいてうけんふ

54

8〔輪〕 (神通功德) 神つくどく

(持海 輪寶) しかいりんぼう

(自轉 輪聖王) してんりんしやうわう

11〔轉〕 (住不退轉) ちうふたいてん

(自轉 輪聖王) してんりんしやうわう

(展轉 相勝) 天天さう少

(轉 共合) てんくかうしやう

(轉 相灌注) てんさうくわんちう

7〔通〕 (住不退轉) ちうふたいてん

(諸 通慧聲) しよつゑしやう

(隨 順通慧) すいしゆんつうゑ

(7) 里部

(高 四百萬里) かうしひやまんり

(二十萬里) 二十まんり

5〔量〕 (又無量壽佛) うむりやうしゆひ

(無量光燄) むりやうかういん

(廣 出無量) ゑんしゆつむりやう

(此皆無量壽佛) 四かいむりやうしゆひ

(不如無量壽國) ふによむりやうしゆこく

13〔還〕 (不遭苦患) ふさうくけん

(不 遲不疾) ふ(ち)ちふんし□

11〔還〕 (欲 令還復) よくりやうけんふ(天)

(水 輒還復) すいてうけんふ

6〔退〕 (波揚無量) はやうむりやう

(歌 喜無量) くわんきむりやう

(銀) (白 銀爲寶) ひやくこんいしつ

(銀) (白 銀爲華) ひやくこんいけ

(紫 金爲華) 四こんいけ

(紫 金爲葉) 四こんいよう

(紫 金爲條) 四こんいてふ

(紫 金爲枝) 四こんいし

(紫 金爲莖) 四こんいきやう

(黃 金池者) わうこんちしや

(底 黃金沙) ていわうこんしや

(底 紫金沙) てい紫金しや

(紫金池者) 四こんちしや

5〔鉢〕 (天優鉢羅華) 天うはんらけ

(鉢 曇摩華) はんとまけ

6〔銀〕 (白 銀爲寶) ひやくこんいしつ

(白 銀爲華) ひやくこんいけ

71

15

30

24

30

31

47

57

20

24

62

67

(8) 金部

(紫 金爲華) 四こんいけ

(紫 金爲葉) 四こんいよう

(紫 金爲條) 四こんいてふ

(紫 金爲枝) 四こんいし

(紫 金爲莖) 四こんいきやう

(黃 金池者) わうこんちしや

(底 黃金沙) ていわうこんしや

(底 紫金沙) てい紫金しや

(紫金池者) 四こんちしや

5〔鉢〕 (天優鉢羅華) 天うはんらけ

(鉢 曇摩華) はんとまけ

6〔銀〕 (白 銀爲寶) ひやくこんいしつ

(白 銀爲華) ひやくこんいけ

1

2

4

6

7

42

42

42

46

46

49

49

1

3

(白銀) 白こん 4

(白銀爲條) 白こんいてふ 6

(白銀爲枝) 白こんいし 7

(底白銀沙) ていひやくこんしや 42

(白銀池者) 白こんちしや 42

(8) 門部

(13) 隨

(開) かい神悦たい 55

(開神悦体) かい神えつたい 55

(4) 間

(周) しゆさうてうけん 16

(世間帝王) せけんていわう 30

(8) 阜部

(5) 阿

(阿難) あなん 25

(佛告阿難) ふつかうあなん 29

(阿難彼佛國土) あなんひふつくくと 70

(5) 陀

(分陀利華) ふんたりけ 50

(7) 除

(蕩除心垢) たうてよしんく 55

(隨應而現) すいをにけん 18

(自然隨意) しねんすい 55

(隨其所應) すい五しよを 59

(隨順清淨) すいしゆんしやうく 65

(隨順三寶) すいしゆんさんぽう 66

(隨順通慧) すいしゆんつうゑ 67

(8) 佳部

(4) 雅

(微妙和雅) みめうわんげ 34

(雜色光茂) さんしきくわうぼう 50

(11) 離

(離欲寂滅) りよくしやくめつ 66

(11) 難

(阿難) あなん 25

(仏告阿難) ふつかうあなん 29

(苦難之名) こなんしみやう 68

(阿難彼佛國土) あなんひふつくくと 70

(8) 雨部

(12) 露

(以爲交露) いけうれう 38

(味如甘露) みねよかんろ 41

(乃至甘露灌頂) ないしかんろくわんちやう 41

(8) 青部

(8) 靜

(或寂靜聲) わくちやくしやう 60

(8) 非部

(非)

(無非法音) むひほうおん 34

(9) 音部

(音)

(出五音聲) しゆつごおんしやう 11

(妙法音聲) めうほうおんしや 19

(其間音者) 五もんおんしや 20

(耳聞其音) にもんごおん 22

(一)者音響忍  
一しやおんかう人

(有百千音樂)  
う百千□んかく

(伎樂音聲)  
きかくおん上

(萬種樂音)  
万しゆかくおん

(一種音聲)  
一しゆおん上

(無非法音)  
むひほうおん

(音聲之中)  
おん上し中

(快樂之音)  
けらくしおん

(諸妙音聲)  
しよめうおん上

13  
〔響〕

(一)者音響忍  
一しやおんかう人

(9)頁部

2  
〔頂〕

(乃至甘露灌頂)  
ないしかなろくわんちやう

64

3  
〔順〕

(華華相順)  
けさうしゆつ

(二者柔順忍)  
二しやにうしゆん人

(隨順清淨)  
すいしゆんしやうく

(隨順三寶)  
すいしゆん三ほう

(隨順通慧)  
すいしゆんつうゑ

7  
〔頭〕

(拘物頭華)  
くもつしゆけ

7  
〔頸〕

(欲令至頸)  
よくりやうしゆ

(水即至頸)  
すいそくしゆ

10  
〔願〕

(本願力故)  
ほんくわんりきこ

(滿足願故)  
まんそくくわんこ

(明了願故)  
みやうれうくわんこ

(堅固願故)  
けんこくわんこ

(究竟願故)  
くきやうくわんこ

(9)風部

〔風〕

(清風時發)  
しやふし

(微風徐動)  
みふせうとう

(9)食部

〔食〕

(衣服飲食)  
ゑふくおんしき

4  
〔飲〕

(衣服飲食)  
ゑふくおんしき

(9)香部

〔香〕

(鼻知其香)  
ひち五かう

29

(清淨香潔)  
しやうくかうけ

(10)高部

〔高〕

(高四百萬里)  
かうし百まんり

(11)黄部

〔黄〕

(黄金池者)  
わうこんちしや

(底黄金沙)  
ていわうこんしや

(14)鼻部

〔鼻〕

(鼻知其香)  
ひち五かう

41

49

13

42

42

22